

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成21年12月24日(2009.12.24)

【公開番号】特開2005-223890(P2005-223890A)

【公開日】平成17年8月18日(2005.8.18)

【年通号数】公開・登録公報2005-032

【出願番号】特願2004-354175(P2004-354175)

【国際特許分類】

H 04 N 5/32 (2006.01)

G 01 T 1/20 (2006.01)

H 01 L 27/14 (2006.01)

【F I】

H 04 N	5/32	
G 01 T	1/20	E
G 01 T	1/20	G
H 01 L	27/14	K

【手続補正書】

【提出日】平成21年11月9日(2009.11.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

X線を受信する複数のピクセルと、

前記複数のピクセルを作動する少なくとも1つの分割走査線(52)と、

前記X線を示す電荷を伝導する少なくとも1つのデータ線と、

を備え、

前記1つの分割走査線(52)の各々が複数の独立した作動線を備えているX線検出器。

【請求項2】

前記少なくとも1つのデータ線が、少なくとも1つの非分割線を備える請求項1に記載の検出器。

【請求項3】

前記少なくとも1つのデータ線の内の少なくとも2つのデータ線が、相互に結合される請求項1に記載の検出器。

【請求項4】

前記少なくとも1つの走査線(52)が垂直に積重ねられる請求項1に記載の検出器。

【請求項5】

前記少なくとも1つのデータ線が、

第1のセットのピクセル(122)に結合する第1の側(118)と、

第2のセットのピクセル(124)に結合する第2の側(120)と、

を含む請求項1に記載の検出器。

【請求項6】

前記複数のデータ線が、

第1のセットのデータ線と、

第2のセットのデータ線と、

を備え、

前記第1のセットのデータ線からの少なくとも1つのデータ線が、前記第2のセットのデータ線からの少なくとも1つのデータ線に結合されることを特徴とする請求項1に記載の検出器。

【請求項7】

前記第1のセットのデータ線の各データ線が、前記第2のセットのデータ線の各データ線に結合される請求項4に記載の検出器。

【請求項8】

前記少なくとも1つの分割走査線(52)が、第1のピクセル・スキャンのセットと第2のピクセル・スキャンのセットとを有する請求項4に記載の検出器。

【請求項9】

前記第1のセットのデータ線が前記第1のピクセル・スキャンのセットに対応し、前記第2のセットのデータ線が前記第2のピクセル・スキャンのセットに対応する請求項6に記載の検出器。

【請求項10】

X線を受信する複数のピクセル(116)と、

前記複数のピクセル(116)を作動する少なくとも1つの走査線(112)と、

前記X線を示す電荷を伝導する、相互に結合される少なくとも2つのデータ線を有する複数のデータ線(114)と、

を備え、

前記複数のデータ線(114)の少なくとも1つのデータ線が、

第1のセットのピクセルに結合される第1の側(118)と

第2のセットのピクセルに結合される第2の側(120)と、

を含むことを特徴とするX線検出器。